第26巻第35号　［宮崎県第35週　(8/26～9/1)　全国第34週（8/19～8/25）］　令和6年9月5日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第35週の発生動向

□　トピックス

・梅毒（全数報告の感染症）

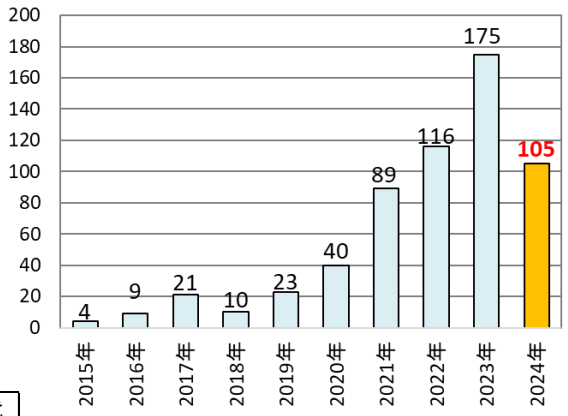
35 週までの診断週による累計報告数が 105 例となった。2022 年以降 3 年連続で 100 例を超え、報告数が多い状況が続いている。0 歳から 80 歳代までの幅広い年齢層から報告があがっている。

性別は男性が 50 例、女性が 55 例で、年齢群別では、20 歳代から 30 歳代が全体の約 6 割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、64 例となっている。

【梅毒】2024 年（第 1 週～第 35 週）年齢別報告数

0～4歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
1	6	44	23	12	7	9	1	2

【梅毒】診断週による
年別累計報告数の推移



※2024 年は第 1 週～第 35 週まで

□　全数報告の感染症（35 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。4 類感染症：日本紅斑熱 2 例。
5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 2 例、梅毒 7 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	男	－	腹痛、水様性下痢、血便、発熱 O157(VT2)
			30歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O115(VT1)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	男	－	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常
		日南	80歳代	女	－	発熱、発疹、DIC、肝機能異常、ショック
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	－	頭痛、発熱、肺炎、菌血症
			70歳代	女	－	咳、菌血症、喀痰増加、胸痛、左膝痛
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		小林	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	百日咳	日南	20歳代	女	－	持続する咳、白血球数増多

□　定点把握の対象となる５類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 890 人(定点当たり 22.1)で、前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はＲＳウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 284 人(4.9)で、前週比 80%と減少した。高千穂(8.0)、延岡(7.0)、都城(6.3)、小林(6.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

【Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

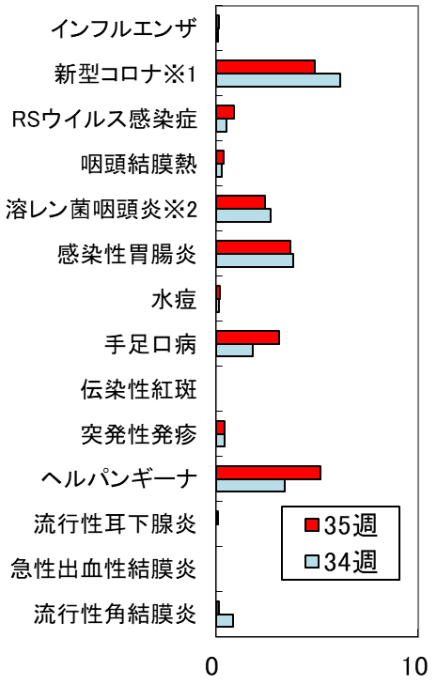
報告数は 88 人(2.4)で、前週比 90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約 1.9 倍であった。日南(5.3)、延岡(4.8)、宮崎市(3.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は 186 人(5.2)で、前週比 152%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 3.4 倍であった。日南(10.7)、宮崎市(7.7)、中央(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

《前週との比較》

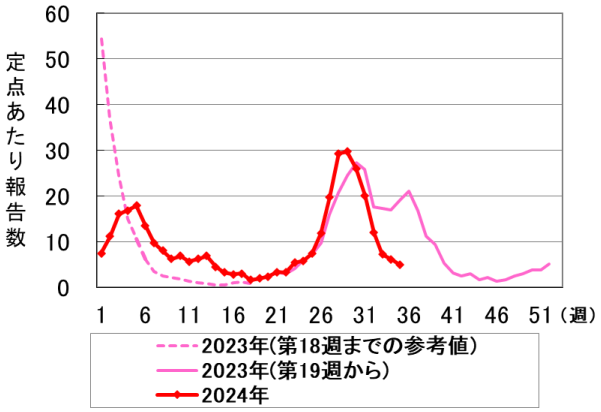


定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

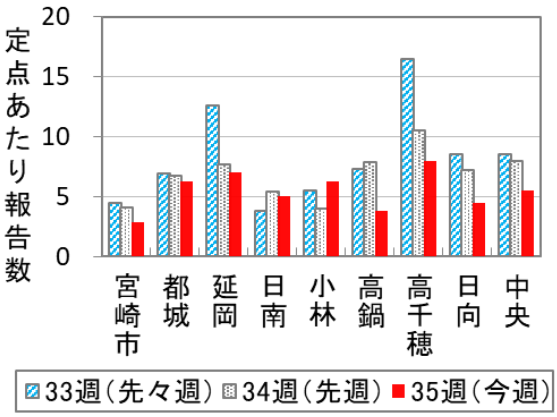
※2 Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症　発生状況

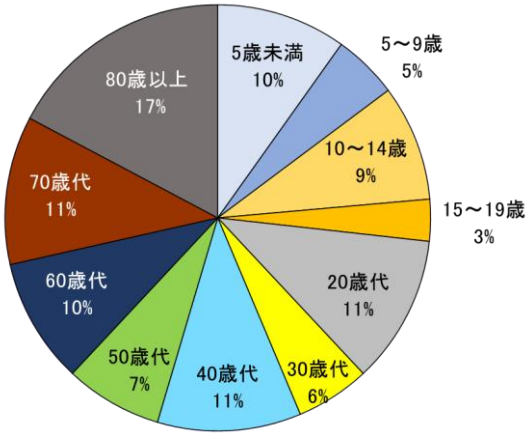


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

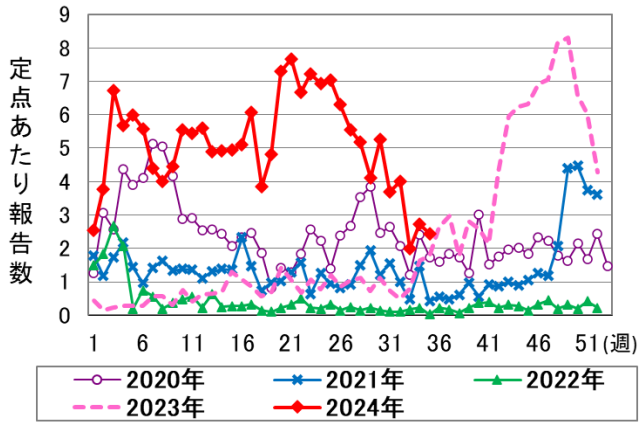
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



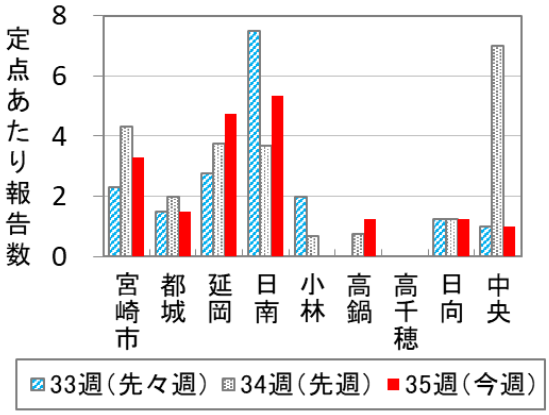
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 35 週)



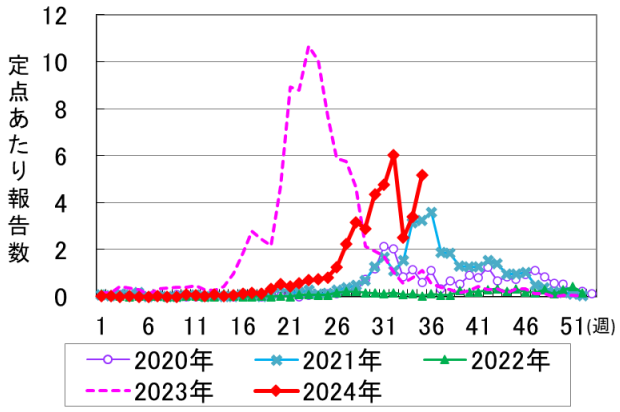
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎　発生状況



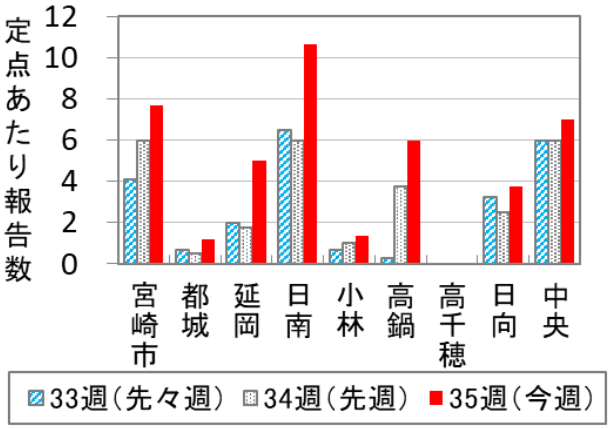
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3 週分)



ヘルパンギーナ　発生状況



ヘルパンギーナ
保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(1 例)、延岡(2 例)保健所から報告があった。年齢は 5～9 歳が 2 例、10～14 歳が 1 例であった。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	ヘルパンギーナ(7.7)
都城	なし
延岡	手足口病(7.0)
日南	手足口病(7.0)、ヘルパンギーナ(10.7)
小林	なし
高鍋	ヘルパンギーナ(6.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(2.0)、ヘルパンギーナ(7.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

・水痘(2)

・手足口病(5)

・ヘルパンギーナ(6)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部　令和 6 年 9 月 2 日までに検出）

★細菌

同 定 細 菌 名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	10歳代	女	2024.07.10	急性胃腸炎(下痢、腹痛)、発熱	便	2024.07.22
Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	10歳代	女	2024.07.11	発熱、関節痛、関節炎	便	2024.07.18
Salmonella enterica subsp. *enterica* (O4:H不明)	50歳代	男	2024.07.23	胃腸炎(腹痛、下痢)、発熱	便	2024.08.05

○50 代後半の男性から *Salmonella enterica* subsp. *enterica* が分離された。サルモネラ属菌は、哺乳類・爬虫類・両生類・川及び食品に広く分布し、*S. enterica* と *S. bongori* の 2 菌種に分けられる。*S. enterica* はさらに、*enterica*、*salamae*、*arizonae*、*diarizonae*、*houtenae*、*indica* の 6 亜種が存在する。このうち、感染症や食中毒として重要となるのは *Salmonella enterica* subsp. *enterica* であり、毎年多数の血清型が報告されている。血清型不明の場合には、疫学情報等も考慮し、生化学試験等を追加して菌種を同定していく必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parainfluenza virus 3 Adenovirus 1	0～4歳	女	2024.06.21	不明の発疹症(紅斑)、発熱	咽頭ぬぐい液	2024.08.28
Rhinovirus	0～4歳	女	2024.06.27	急性弛緩性脊髄炎疑い、麻痺(全身性)	鼻咽頭ぬぐい液、便	2024.08.28
Human herpes virus 6					鼻咽頭ぬぐい液、全血	
Respiratory syncytial virus(RSV)	0～4歳	男	2024.07.01	急性気管支炎、37.8℃、紅斑	鼻汁	2024.08.28

○急性気管支炎の症状を呈する小児の患者 1 名から Respiratory syncytial virus(RS ウイルス)が検出された。RS ウイルス感染症は乳幼児の代表的な呼吸器疾患であり、2 歳までにほぼ全ての乳幼児が感染するとされている。家族内にハイリスク者（乳幼児や慢性呼吸器疾患等の基礎疾患を有する高齢者）が存在する場合、罹患により重症となる可能性があるため、マスク着用や手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底することが重要である。

全国 2024 年第 34 週の発生動向

□　全数報告の感染症

1類感染症	報告なし						
2類感染症	結核	239 例					
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	140 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	3 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	6 例	日本紅斑熱	14 例	マラリア	1 例
	ライム病	2 例	レジオネラ症	37 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	37 例	急性脳炎	7 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	40 例	後天性免疫不全症候群	11 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例	水痘(入院例)	12 例
	梅毒	197 例	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	96 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 114%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患はＲＳウイルス感染症であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 43,267 人(8.8)で前週比 104%とほぼ横ばいであった。青森県(17.9)、岩手県(15.9)、秋田県(14.4)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 13,236 人(4.2)で前週比 110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約 2.7 倍であった。山形県(8.4)、宮城県(7.6)、滋賀県(7.1)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報　（71定点医療機関 ）　2024年 第35週（08月26日～09月01日）

疾病名		第34週	第35週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5	10	1		6	3					
	定点当り	0.09	0.17	0.06	0.00	0.86	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	356	284	45	63	49	25	25	23	16	27	11
	定点当り	6.14	4.90	2.81	6.30	7.00	5.00	6.25	3.83	8.00	4.50	5.50
RSウイルス感染症	報告数	19	32	8	9	2	3	1	7		1	1
	定点当り	0.53	0.89	0.80	1.50	0.50	1.00	0.33	1.75	0.00	0.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	11	14	6		2	2		3		1	
	定点当り	0.31	0.39	0.60	0.00	0.50	0.67	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	98	88	33	9	19	16		5		5	1
	定点当り	2.72	2.44	3.30	1.50	4.75	5.33	0.00	1.25	0.00	1.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	137	133	32	30	1	12	14	15		25	4
	定点当り	3.81	3.69	3.20	5.00	0.25	4.00	4.67	3.75	0.00	6.25	4.00
水　痘	報告数	6	7		2	3						2
	定点当り	0.17	0.19	0.00	0.33	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
手足口病	報告数	66	113	35	10	28	21	7	7		3	2
	定点当り	1.83	3.14	3.50	1.67	7.00	7.00	2.33	1.75	0.00	0.75	2.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	16	6	3	2	1	2			2	
	定点当り	0.44	0.44	0.60	0.50	0.50	0.33	0.67	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	122	186	77	7	20	32	4	24		15	7
	定点当り	3.39	5.17	7.70	1.17	5.00	10.67	1.33	6.00	0.00	3.75	7.00
流行性耳下腺炎	報告数		3	1			1		1			
	定点当り	0.00	0.08	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	1		1							
	定点当り	0.83	0.17	0.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	6	3	1		2						
	定点当り	0.86	0.43	1.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点：58、小児科定点：36（インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

●全数把握対象疾患累積報告数（2024年 第1週 ～35週 保健所受理分）

2類感染症	結核	75例(1)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	29例(2)					
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例	
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	8例(2)	レジオネラ症	10例	
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	13例(2)	水痘（入院例）	4例	梅毒	106例(7)	
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例	百日咳	39例(1)	

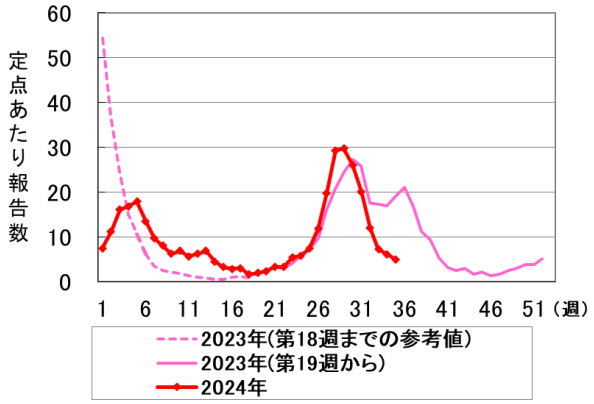
（　）内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 35 週、全国第 34 週（再掲）》

□ 県内第 35 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

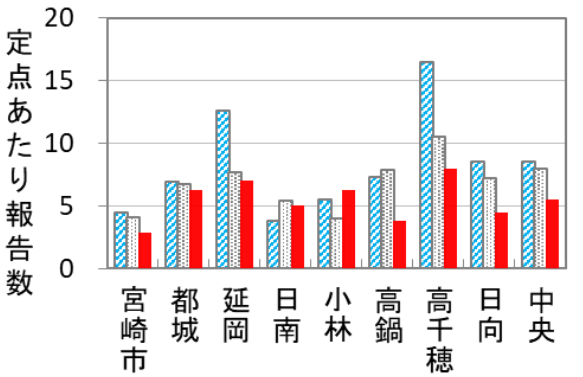
8 月 26 日～9 月 1 日までの 1 週間で 284 人(4.9)の報告があった。前週比 80%と減少し、高千穂(8.0)、延岡(7.0)、都城(6.3)、小林(6.3)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症　発生状況

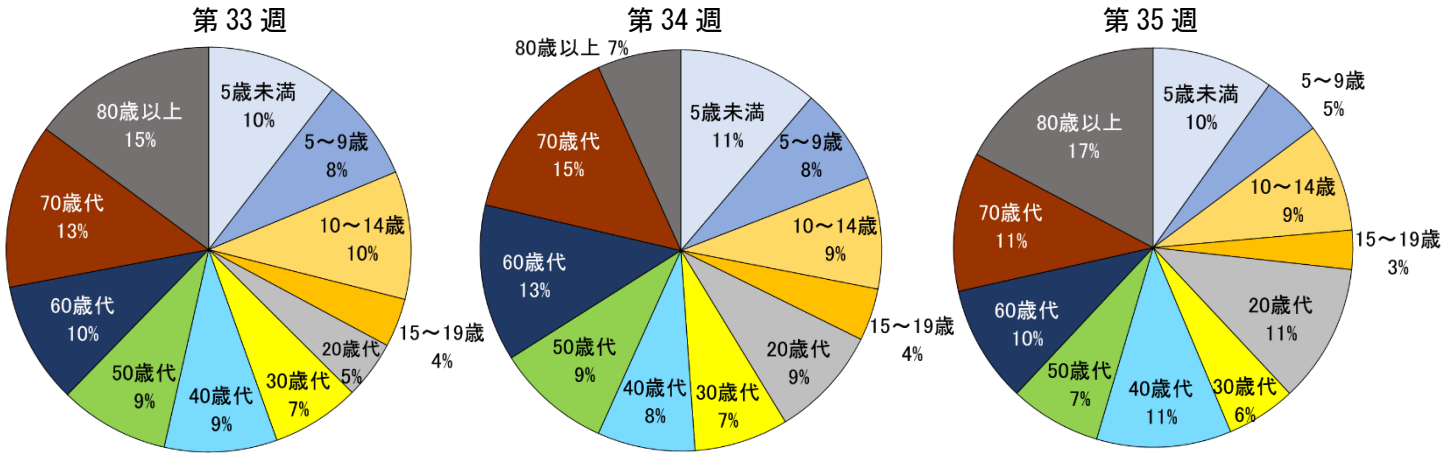


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

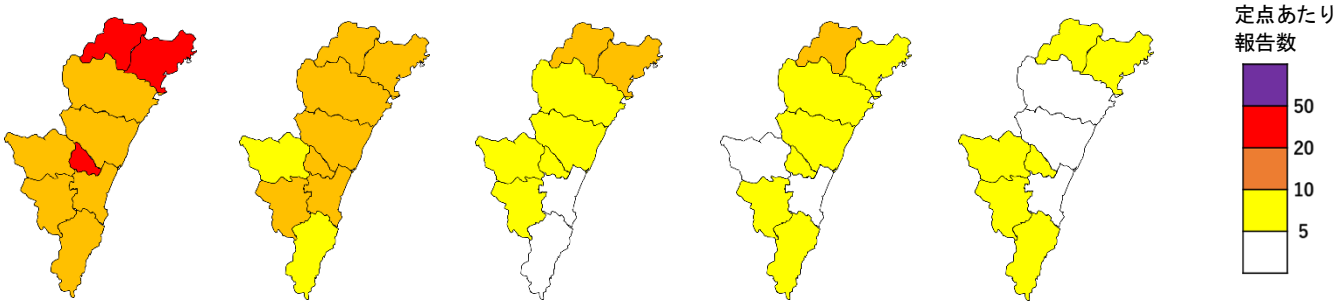
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症　年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ　2024 年第 31 週～2024 年第 35 週



2024 年 31 週（県全体 20.1）　2024 年 32 週（県全体 11.9）　2024 年 33 週（県全体 7.2）　2024 年 34 週（県全体 6.1）　2024 年 35 週（県全体 4.9）

＊　県独自の基準によるもの

□ 全国第 34 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

8 月 19 日～8 月 25 日までの 1 週間で 43,267 人(8.8)の報告があった。前週比 104%とほぼ横ばいで、青森県(17.9)、岩手県(15.9)、秋田県(14.4)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。